

重版決定  
7月28日  
出来予定

●文芸書(海外文学)・話題書 ご担当者さま

読み終えてしばらく動けない……(中略)ここには疑似家族を超えた“家族”があって、ほとんど涙が出る。

古川日出男氏、朝日新聞文芸時評 6月30日

波瀾万丈の日々が描かれる本作の中で、ごくたまにあらわれる静かな団らんがこよなく甘美なのだ。

榎木伸明氏、日本経済新聞 7月1日

# 終わりのない日々

セバスチャン・バリー 著／木原善彦 訳

語り手は、19世紀半ばの大飢饉に陥ったアイルランドで家族を失い、命からがらアメリカ大陸に渡ってきたトマス・マクナルティ。頼るものもない広大な国でトマスを孤独から救ったのは、同じ年頃の宿無しの少年ジョン・コールだった。美しい顔立ちに幼さの残る二人は、ミズーリ州の鉱山町にある酒場で、女装をして鉱夫たちのダンスの相手をする仕事を見つける。初めてドレスに身を包んだとき、トマスは生まれ変わったような不思議な解放感を覚える。やがて体つきが男っぽくなると、二人は食いつぱぐれない軍隊に入り、先住民との戦いや南北戦争をともに戦っていく――。



貴店印	希望数	ISBN978-4-560-	書名	本体価格
ご担当	様	09084-8	終わりのない日々	3,400円

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-19)